

令和7年度第1回飯田市自殺対策推進協議会 議事録

■開催日時：令和7年12月15日（月） 15時30分～17時15分

■開催場所：飯田市役所本庁C棟3階 C311～313会議室

■出席者：飯田市自殺対策推進協議会会長（市長）

飯田市自殺対策推進協議会委員 9名

飯田市自殺対策庁内委員 13名

事務局 10名

■講師：長野県精神保健福祉センター 竹内 美帆 氏

司会：宮嶋保健課長

1 開会

2 こども未来健康部長挨拶(山崎部長)

皆さん、こんにちは。飯田市こども未来健康部長の山崎でございます。師走になり、何かとお忙しい中、飯田市自殺対策推進協議会に多くの関係者の皆様にご出席いただきまして誠にありがとうございます。今、司会からもありましたが、本来であれば、当協議会の会長が挨拶をさせて頂くところですが、別の会議に出席中でございますので、グループワークから参加をさせていただき予定をしております。会の最後に挨拶をさせていただきますので、ご承知いただければと思います。

協議会の開催に先立ちまして一言ご挨拶を申し上げたいと思います。令和6年、飯田市では16名の尊い命が自殺によって失われております。これは月に1人から2人という計算になります。一つ一つの命の背景には、かけがえのない人生あり、そしてその人を愛し、今も深い悲しみの中にいるご家族やご友人の方がいらっしやると思います。さらに、憂慮すべきことでありますけれども、令和2年から自殺者数が増加傾向にございます。協議事項の中で、担当より詳しくご説明ご報告をさせていただきますが、亡くなられた方の約8割が男性でありまして、人生の重要な節目である世代に集中をしております。これら全ての世代が何らかの困難に直面し、孤独の中で苦しんでいる現状を、私達は真摯に受け止め、対策を講じていかなければいけないと考えております。昨年度の協議会においても、自殺未遂者へのアプローチや支援などについてご協議をいただき、個人情報の取り扱いに議論がされたと記憶しております。本日は昨年度のご意見や制度改正などを踏まえまして、飯田市版の支援フローを作成いたしましたので、この後ご意見を頂戴できればというふうに思います。また協議事項の後、長野県精神保健福祉センターの竹内様より、未遂者支援フローに対するアドバイスや、自殺対策基本法の改正に伴う、未遂者支援の体制整備などについてお話をお聞きする予定となっております。竹内様どうぞよろしく願いいたします。

本日の協議会は、この課題に地域全体で受け入れ、1人の命が救えるよう、また1人1人ができることを考えていく大切な機会というふうに思います。誰もが助けてという声を上げられる社会、そして誰かの小さなSOSに気づける地域を作っていきたいというふうに考えております。限られた時間ではあ

りますが、皆様からの忌憚のないご意見を頂戴できればと思います。本日はどうぞよろしくお願ひいたします。

3 任命書交付

令和6年3月31日までに、前委員が異動または改選等により新たに選任された委員6名に交付

任期：令和7年4月1日～令和8年3月31日の1年間

※資料2の名簿の中で★印が付いている6名

4 協議事項

(1)議長副議長選出

議長：原 重一 委員

副議長：菅沼 昌子 委員

議長 皆さん、こんにちは。お忙しいところ、ありがとうございます。ただいま議長ということで、選任されました、出身は飯田市社会福祉協議会の原でございます。スムーズな進行が行われると同時に、いい会議になりますように、皆様のご協力をよろしくお願ひします。

副議長 副議長に選出されました菅沼昌子です。議長と共に議事進行してまいりますので、ご協力をよろしくお願ひいたします。

(2)飯田市自殺対策推進計画進捗報告及び飯田市の自殺の現状について（事務局）

※資料No.3・4 配布

質疑なし

(3)こころの健康に関するアンケート結果について（事務局）

※資料No.5・6 配布

質疑なし

(4)金融機関との連携について（産業振興課 西尾係長）

(5)飯田市自殺対策啓発キャラクターの紹介（事務局）

※資料No.7 配布

質疑なし

(6)飯田市版未遂者支援ネットワーク構築について（事務局）

※資料No.8・9 配布

質疑なし

5 講義 「自殺未遂者支援における個人情報の取扱いについて」

講師 長野県精神保健福祉センター 竹内 美帆 氏

※資料No.10 配布

6 グループワークテーマ：飯田市版未遂者支援ネットワーク構築に向けて

(1)テーマ：飯田市版未遂者支援ネットワーク構築に向けて

(2)各グループ発表

(3)総括 講師（竹内美穂氏）

たくさんの意見をありがとうございました。私の方でも聞いていて、職員のメンタルヘルスっていうところも大事ですので、どの部署も1人で抱えないことが大事になります。未遂者の家族のサポートもかなりエネルギーを使うかと思います。場合によっては、行政批判で言ってくる方もいらっしゃいますので、職員のサポートをしていただければと思います。

それから、やはり初動の部分の研修ですね。この前、別の町村の会議の方に出させていただいた時に、庁内の関係部署でこういう方が窓口に来たらどうするかという研修をロールプレイで行い、どう対応するか、どう繋ぐか、というところをやっているところがありました。そういったところも取り組んでいただくことも一つかなというふうに思います。

あとは、未遂者だけでなく、もし自殺が既遂となった場合は自死遺族の方もいらっしゃいます。この視点もぜひ忘れずに持っていただければと思います。1人の自殺者がいる場合、その周りの10人の方に影響があると言われていまして、自死遺族の視点も持っていただければと思います。ここで必要になるのはゲートキーパーの視点かと思います。ちょっとでも気になる様子があったら一言声をかけていただくことで、何か支援に繋がることもありますので、皆様そういった意識を持っていただければ大変ありがたいです。今後ともよろしくお願いします。

7 飯田市自殺対策推進協議会会長挨拶（佐藤市長）

最初から出られなくて申し訳ありませんでした。協議会の会長を務めております、飯田市長の佐藤です。本日は大変お忙しい中、この協議会にお集まりをいただきましてありがとうございます。また講師を務めていただきました竹内さん、本当にありがとうございました。非常に心に響くアドバイスを頂いたなというふうに思っています。

自殺をしてしまう方の原因というのが一つではないというのは、皆さんも共有していることだと思いますし、またアンケートの中でもいろいろな悩みを抱えている人というのは一つの悩みではなくていろんな悩みを抱えていらっしゃるという、そういうアンケート結果も今回も改めて確認できました。そういった意味では、今日関わっていただいている皆さんのそれぞれが、自殺を防ぎ得るゲートキーパーとなりうる立場であるというそういうことなのだろうと思います。

グループワークの中でそれぞれのグループから出てきたことを私なりにまとめると、一つはやはり初動がとても大事ということ。竹内さんからも初動を誤ると、2回目以降の相談が難しくなるという話がありました。

それから、繋ぐというところですね。やはり一つの課では、あるいは一人の担当者ではなかなか解決というか防ぐことができない可能性が高いので、それをどうやってみんなでやるかというところ

ろだと思えます。専門職という話もありましたが、専門職も一人ではできないと思うので、そういう意味ではお互いに繋いだり繋がったりするっていうことがとても大事だということを改めて思いました。

それからもう一つは、先ほど自死遺族の支援という話もありましたが、自殺された方の周りに大勢の関係者がいて、その人たちは防がなきゃいけない立場でもありますけれども、実際に何か起こってしまったときにはすごくダメージを受ける人でもあります。その方たちへのフォローもすごく大事になりますので、周りの人たちへの対応っていうのもすごく大事だと改めて思ったりもします。

私も、かつて別の県で勤務していた時に、自分の部下を自殺で亡くした経験があるのですが、その人はすごく真面目な人で一切周りに弱音を吐かなかった。だから周りの人からすると、あの人が何で？っていう、そういう感じなんですよね。なので、実際はこういう相談とか、未遂があったのという俎上に上っている人ばかりでもないっていうことだと思うんですね。だからこそ、逆にこういう何らかの防げる可能性がある人で、表に出てきた人は、何とか救いたいと思うんです。そういうふうに、全く予兆見せずに亡くなっちゃう人の方がむしろ多いかもしれないので、予兆を見せてる人に対しては、何とか防ぎたいなと本当に思います。

ちょっと長くなりましたけれども、今日お集まりいただいている皆さん1人1人が、1人でも自殺する方を減らせる立場にあるというそういう気持ちですね、大変ですけどもしっかり初動を大事に、しっかり繋がりがながら、みんなでやっていくということをお願いできればと思います。今年度はこれで協議会は終わりかもしれませんが、立場変わっても、ぜひ引き続きよろしくお願ひしたいと思ひます。

8 閉会

皆さま、大変お忙しい中、本日の協議会にご参加くださりありがとうございました。以上を持ちまして、令和7年度第1回飯田市自殺対策推進協議会を終了いたします。